

大切なあなたと家族のために  
～ 検診のすすめ～



女優 仁科亜季子さん

大会では仁科亜季子さんによる講演会も開催されました。仁科さんは子宮頸がんを経験され、予防ワクチン・検診の大切さを話されました。

家族旅行から帰国し、調子が悪かったので、かかりつけ医の先生に診てもらい、先生から「一度検診を受けてみませんか？」と言われ、その検診で子宮頸がんが見つかりました。38歳の時でした。その時がなが見つかってなかったら、後2年の命だったそうです。今では子宮頸がんに対して予防ワクチンが開発され、日本でも2009年12月から医療機関で、接種で

きるようになりました。予防ワクチンは、中学生の若い時に接種してください。また、接種すると不妊になるといった間違った情報がありますが、決してそんなことはありません。予防ワクチンはとても効果的ですが、予防ワクチンが有効なのは発がん性ヒトパピローマウイルスに対してで、その他の原因で子宮頸がんにかかる可能性もあるため、予防ワクチンとその後の定期的な検診をお勧めします。周防大島町はがん検診受診率が低いと聞きました。自分の体が今どうなっているのか、ぜひ検診を受けて知ってほしいと思います。

**がん検診を受けましょう**  
がんは早期に発見されれば、生存率が高くなります。町では各種がん検診を実施していますので、詳しくは健康増進課までお問い合わせください。

周防大島町では予防ワクチン接種できるの？  
子宮頸がん予防ワクチン

子宮頸がん予防ワクチンは任意の予防接種で、町では公費負担により、自己負担額無料で予防接種を受けることができます。

- ◆対象者 中学1年生～高校2年生に相当する年齢の女子  
※ただし、高校2年生については、平成23年度に1回目または2回目を接種した場合に限ります。
- ◆実施期間 平成25年3月30日(土)まで  
※対象者には町から個別に通知しています。
- ◆問い合わせ 健康増進課 ☎0820(77)5504

大会式典▶

大会式典ではオープニングセレモニーとして源空寺保育園による「周防大島子ども太鼓」、蒲野保育所・久美保育所による「フラダンス」が披露されました。また、岡村春雄副町長が町民健康づくり宣言を表明し、最後に医療・福祉功労者へ感謝状が贈呈されました。



町民健康づくり宣言

海と山にかこまれた豊かな自然の中で、心身ともに健康で幸せな生活を送ることは、すべての町民の願いです。

その実現のためには町民一人ひとりが「自分の健康は自分でつくる」という意欲をもち、町全体で助け合いながら進めていくことが大切です。

生涯を通じて健康で安心して暮らせるまちを町民、地域、行政が一体となってつくるため、周防大島町は「幸せに暮らせるまちづくり」を合言葉に健康寿命の延伸へ向けた「健康づくりのまち」を宣言します。

平成24年10月14日  
周防大島町



<町民健康福祉大会はふるさと寄附金を活用して開催されました。>

特定保健指導利用者  
中村善昭さん(久賀)



『歩くことが重要です。』

	体重	腹囲
指導前	77.8 kg	99.5 cm
指導後	74.1 kg	93.5 cm

私は平成23年12月から6か月間、特定保健指導を利用しました。食事制限とカロリー消費のためよく歩きました。町の保健師さんが定期的に来てくれて、管理してくれたので達成できたのだと思います。自分の意思ではなかなか出来なかったことです。運動などは引き続き続けて、健康づくりを楽しもうと思います。

また、シンポジウムでは、特定健診の結果、特定保健指導の対象となり、実際に町保健師による特定保健指導を利用された方の体験談も披露されました。

町が特定保健指導を実施する  
特定保健指導対象者

① 40～74歳の国保加入者の方で  
腹囲：男性85cm以上・女性90cm以上  
またはBMI 25.0以上

血圧 収縮期血圧 130mmHg以上かつ  
拡張期血圧 85mmHg以上

血糖 空腹時血糖 100mg/dl以上かつ  
HbA1c 5.2%以上

脂質 中性脂肪 150mg/dl以上かつ  
HDLコレステロール 40mg/dl未満

①の方で血圧・血糖・脂質が1つ以上該当すれば、**特定保健指導の対象**